

重化学工業通信社が提供する「新エネルギー新報」に、当社子会社の多摩川エナジーにて販売を行う小型風力発電システムに関する記事が紹介されました。

～多摩川 HD、発電出力 19.5 kW の小型風力発電システムを販売
館山市に売電目的で設置～

【新エネルギー新報 2 月 20 日発行／No.120】

TOPICS

多摩川HD、発電出力 19.5kW の小型風力発電システム発売 館山市に売電目的で設置

多摩川ホールディングスは、子会社である多摩川エナジーが小型風力発電設備の販売を行う。グループで保有している館山市メガソーラー発電所(発電出力約 2,000kW)の余剰敷地内にC&F Green Energy製の出力 19.5kW風車機器を 1 基建設して自社保有する。経済産業省の認可と東京電力の連系承諾を得ており、2016年 3 月末までに売電開始する。

販売する風車機器は、固定価格買取制度に係る設備認定に必要な「一般財団法人 日本海事協会」のClassNKの認証を受けている。可変ブレードピッチおよびアクティブヨーを有する水平軸型風力タービン。高さ27m、ローター直径13.1m。ブレードは 3 枚で最大出力19.5kW。耐風速59.5m/s。カットイン風速2.2m/s、カットアウト風速25m/s。インバータはELPOWER社製。

発電効率の観点から設置場所を風速 5 m/s以上のエリアに設置することが望ましく、今後は該当エリアの取得・開発を積極的に行うことで2017年には100基程度を販売することを目標としている。グループとして、太陽光発電設備の次なる主要な発電設備として、小型風力発電設備の導入を進め、再エネシステム販売事業の拡大を目指す。

C&F Green Energyは、アイルランドに本社を構える C&Fグループの関連法人で、2006年から小型と中型の風力発電設備を開発、製造している。欧州では1,000台以上設置しており、アイルランド、英国、イタリア、フランス、スイスなどに多数の設置実績がある。C&Fグループは1989年から自動車の金属やクロームパーツの設計、製造、供給を行っており、世界の企業に納入している。

多摩川HDグループは、環境事業の一環として再生可能エネルギーを利用した発電所の保有・運営のほか、外部に対しても販売している。グループでは事業を「再エネシステム販売事業」として、主に太陽光発電設備の販売を主に行っている。今後グループでは太陽光発電に加え、次なる再生可能エネルギーとして風力、地熱、水力、バイオマスなどによる発電事業の可能性を調査・検討し、小型風力発電設備販売開始に向けての準備に着手した。



※この記事は発行元に掲載許可を承諾いただいた上で掲載いたしております。